

2港環環第3132号
令和3年3月1日

国土交通大臣
赤羽一嘉様

港区長
武井雅昭

羽田空港機能強化に係る安全対策等の要請について

昨年12月4日に那覇空港発東京国際空港行きの日本航空904便・ボーイング777型機が那覇空港の北約100kmにおいて、左側のエンジンに不具合が発生したため、同空港に引き返す事案が発生しました。更に先月21日（現地時間20日）に、米国コロラド州デンバー国際空港発米国ハワイ州ホノルル空港行きのユナイテッド航空328便・ボーイング777型機が離陸直後に右側エンジンに損傷が発生したため、デンバー国際空港に引き返し、その際に郊外の住宅地等に複数の機体の破片が落下する事案が発生しました。

これまで、羽田空港においても、同系列のエンジンを搭載したボーイング777型機が運航されていた状況があり、このことは、新ルート等においても、人命に関わる重大事故に繋がりがかねない事故が発生するのではないかと不安を区民に与えています。

貴省として、このような状況を十分に認識され、区民への丁寧な説明や更なる安全対策等に積極的に取り組むよう、下記のとおり強く要請いたします。

記

- 1 今回のエンジン損傷事案に関して、米国連邦航空局等に対する原因究明及び再発防止の実施要請及び情報収集、追加対策の検討に加え、区民への丁寧な説明や情報提供を行うとともに、他型式のエンジンを搭載した航空機についても同様の事案が発生しないよう、安全・安心の確保に万全を期されたい。
- 2 落下物防止対策基準などを含む「落下物対策総合パッケージ」に盛り込まれた対策の確実な運用や検証評価を行うとともに、落下物事故に対する罰則を含めた、航空会社への更なる指導の強化など、より実効性の高い落下物防止対策を積極的に検討されたい。
- 3 引き続き、貴省が設置された「羽田新経路の固定化回避に係る技術的方策検討会」等において、今後の航空技術の進展に伴う新たな取組、地方空港の更なる活用等による飛行ルートの分散化、海上ルートの活用など、新ルートに限らず、羽田空港の飛行経路に係る様々な運用を早急かつ具体的に検討されたい。